

山谷えり子防災担当大臣からのメッセージ

第2回ジュニア防災検定表彰式の開催を心からお慶びを申し上げます。また、表彰式に出席されている小学生、中学生の皆さん、入賞おめでとうございます。

阪神・淡路大震災から今年で20年、東日本大震災から4年、私たちはこの2つの震災から多くの教訓を学びました。

特に東日本大震災では、日頃の訓練により、子供たちが自発的に避難できた事例もあり、防災教育の必要性が叫ばれています。3月14日から5日間にわたり仙台市で開催された第3回国連防災世界会議でも、防災教育の必要性が議論されました。

ジュニア防災検定は東日本大震災の教訓から、平成25年5月に平野啓子理事長を中心として立ち上げられ、日本全国にジュニア防災検定の取り組みが着実に拡大していると聞いております。

ジュニア防災検定は、従来の暗記・記憶力を問うだけの筆記試験ではなく、子供たちが生きる力を身に付ける検定であり、内閣府が推進する防災教育の普及・啓発の取り組みとも合致するものであります。

ジュニア防災検定に合格した皆さんは、合格が終わりではありません。合格が始まりという気持ちで、是非とも日本の将来を担っていけるよう、これからも学校生活や勉学にも一生懸命に頑張ってください。期待しています。

最後になりますが、本日の表彰式にご出席の皆様方の今後ますますのご健康とご多幸をご祈念申し上げて、メッセージとさせていただきます。

平成27年3月27日
防災担当大臣 山谷えり子